

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

平成 21年 4月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	0193500030
法人名	社会福祉法人 幸清会
事業所名	グループホーム みたらの杜
所在地	室蘭市絵鞆町2丁目22番3号 (電 話) 0143-26-3330

評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成21年3月23日	評価確定日	平成21年4月20日

【情報提供票より】 (21年 2月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 20 年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算15.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円			
その他の経費(月額)	光熱費 15,000円 暖房費として(10月~3月) 5,000円増			
敷 金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 有りの場合 償却の有無	有 / 無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(3月23日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	7名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	1名		
年齢	平均 84.2歳	最低	72歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	きのした内科クリニック 福田歯科クリニック
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

室蘭大橋を望む見晴らしの良い高台に、同母体組織が運営するデイサービスセンター、老人福祉施設、小規模多機能居宅介護と併設して事業所がある。ゆったりとしたライフスタイルを大切に一人ひとりに合わせた生活支援が行なわれている。展望サロンが完備され、遠い山並み、海、室蘭大橋が間近に望み団欒を楽しんだり、ひとりでゆっくりくつろいだり、なつかしい茶箆筒なども置かれ、温度湿度管理もされた居心地良い共用空間ができている。立地条件を生かした特徴的な設備も整った中で、その人らしく過ごせるような工夫を凝らした取り組みが様々行われているアットホームな事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	初めて
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	初めての自己評価の取り組みであり、管理者、職員の全職員で取り組んでいる。しかしながら、全職員での検討やこれを活かした気付き、改善への取り組みまでには至っていない。全職員での自己評価へ取り組みに加え、その中での気付き、改善点などを理解して具体的な評価を活かした取り組みに結びつくよう期待したい。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)	2ヶ月に1回家族代表、町内会長、包括支援センター職員、特養管理者、デイサービスセンター管理者などで行なわれ、運営報告、行事案内などの意見交換が行なわれている。また、グループホーム連絡会を通して市の担当者とも連絡を取り合っている。今後は更に、町内会に加入して地域の方にも参加して頂くことを期待する。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)	母体組織自体で家族アンケートが実施され、苦情対応体制が出来ている。家族の意見も取り入れられるよう意見箱を設置。また、来訪時などに希望や意見を聞くようにしている。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	町内の盆踊りに参加、ケアケア交流講座を開いている。今後は、町内会に加入し、町内行事などを通して地域交流を深め、運営推進会議にも地域の住民の方にも参加していただき、更には避難訓練の協力体制など地域住民との相互交流を期待する。
	重点項目④	

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「穏やかで、楽しい、尊厳のある生活を保障する。その人らしい、あたりまえの生活を保障する」とした母体組織独自の経営理念は作られているが、地域住民との交流の下で暮らし続ける等の理念を加えることを期待する。	○	地域密着型サービスの役割を理解し、果たすべき役割を反映できる内容を、事業所独自のものとして理念に盛り込むことを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々「経営理念、ケア理念、利用者の権利」を記載したカードを携帯し、理念の共有と支援の際の確認に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元自治会の盆踊りに参加、ケアケア交流講座を事業所で行うなど、地域と交流を図っている。	○	今後は、町内会に加入し、町内行事などを通して地域交流を深め、運営推進会議にも地域の住民の方にも参加していただき、更には避難訓練の協力体制など地域住民との相互交流を期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初めての自己評価の取り組みであり、管理者、職員の全職員で取り組んでいる。しかしながら、全職員での検討やこれを活かした気付き、改善への取り組みまでには至っていない。	○	全職員での自己評価へ取り組みに加え、その中での気付き、改善点などを理解して具体的な評価を活かした取り組みに結びつこう期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議が、家族代表、町内会長、市職員、包括支援センター職員、特養管理者、デイサービスセンター管理者で行なわれ、運営報告、行事案内などの意見交換が行なわれている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム連絡会の中で市の担当者との情報のやり取りなどを行なっている。また、4月以降市の委託を受けて介護予防教室を開始する予定である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪は多く、面会時には近況報告や意見を聞きながら、2ヶ月に1回ユニットごとに広報誌を発行して担当者より家族に状況報告などを行ない、行事案内も兼ねた、広報が行なわれている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	母体組織自体で家族アンケートが実施され、苦情対応体制が出来ている。家族の意見も取り入れられるよう意見箱を設置。また、来訪時などに希望や意見を聞くようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在までユニット間を含め、職員の異動は行なわれていない。馴染みの関係を崩さないように心掛け、挨拶を大切にした支援が行なわれている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体組織自体で年間研修計画が立てられ、外部研修、内部研修に取り組みスキルアップが図れる機会が設けられている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会、西部広域連絡会に入り、2ヶ月に1回研修、意見交換などの取り組みが行なわれている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	電話相談、利用者家族の見学、利用者の自宅施設の事前訪問、小規模多機能を利用したり馴染めるような工夫がされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個々人の好み、能力に応じ利用者と職員が共に清掃、食事の準備や配膳が行ない、喜怒哀楽なども共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	抜粋センター方式を用い、アセスメント、生活スタイル、本人家族からの聞き取り、日々の生活の中からの思いの把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン作成時には、本人や家族の意向や要望は勿論のこと、スタッフの意見も取り入れ作成するように努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に評価、モニタリングと状況に応じた見直しが行なわれている。また、変化があった際には随時見直しが行なわれている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助、買物、紅葉見物など、その時々々の状況に合わせた支援が行なわれている。また、受診の付き添いや、併設事業所との連携など、臨機応変な対応が成されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望に応じた「かかりつけ医」への受診支援が行なわれ、状態に応じて総合病院への受診も対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設間もないホームのため、取り組みは行われていないが、現在職員の研修を含めた体制作りが検討されているところである。	○	できるだけ早期に、重度化した場合や終末期のあり方について、指針を作り本人家族等、かかりつけ医との連携など取り組みを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりに合わせた声掛け、プライバシーを損ねないように配慮している。記録の取り扱いも適切に行なわれ、個人情報の取扱いについても十分配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々人の趣味や生活スタイルに合わせた、詩吟、ぬりえ、編み物など希望に応じた日々の支援が行なわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて、出来る事を一緒に行ない、スタッフも一緒に食事をしながらさりげない支援が行なわれている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、回数、時間帯に関わらず、希望を優先した支援が行なわれている。また、小規模多機能の浴室を使い、広くゆったりした入浴支援が行なわれている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ライフヒストリーなどを基に、生活スタイルを生活に活かしながら、個々の能力に応じた食器洗いや清掃など役割分担を行ない、美術館、水族館、海浜公園など気晴らしの支援が出来ている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の意見を聞きながら、散歩、ドライブなどが行われている。	○	今後は、日常的な外出支援、外食など機会を捉えた支援も期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は夜間のみ(21時～7時)まで防犯上施錠しているが、日中は見守りで対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時マニュアルを作成し、緊急連絡網も整備して、夜間想定で避難訓練が行なわれている。近隣の福祉施設との協力体制は出来ている。	○	運営推進会議などを通して、消防署、近隣施設、地域住民を巻き込んだ、昼夜季節を問わない災害対策を期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスのとれた献立、毎日の水分量、食事の摂取量などが把握され一人ひとりに合わせた支援が行なわれている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	展望サロンが一角にあり、遠い山並み、海、室蘭大橋が間近に望み団欒を楽しんだり、ひとりでゆっくりくつろいだり、なつかしい茶箆筒なども置かれ、温度湿度管理もされた居心地良い共用空間ができています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が自宅で使用していた家具や馴染みの品々を持ち込むことができ、本人の落ち着ける居室づくりが出来ている。また、共有スペースには、敢えて昔を思い出させる物を設置するなど、居心地よく過ごせる工夫がされている。		

※  は、重点項目。